

港 灣 技 研 資 料

TECHNICAL NOTE OF
THE PORT AND HARBOUR RESEARCH INSTITUTE
MINISTRY OF TRANSPORT, JAPAN

No. 158 Mar. 1973

波浪に関する拠点観測年報（昭和46年）

高	橋	智	晴
副	島		毅
中	井	徹	也

運輸省港湾技術研究所

波浪に関する拠点観測年報（昭和46年）

高橋智晴**

副島毅*

中井徹也*

要 旨

“波浪に関する拠点観測実施要綱”（昭和43年10月、運輸省港湾局策定）にもとずき、各港湾建設局は観測記録方式のデジタル化を中心とした現地波浪観測施設の整備をはかり、港湾技術研究所は取得観測データの集中バッチ処理体制を確立して、昭和45年度より経常的な運用を開始した。北海道開発局管内においてもこれに準じた実施体制を整備し、同時に運用を開始した。

この報告は、続刊“波浪に関する拠点観測年報（昭和45年）”に引続き昭和46年1月1日より同年12月31日にかけての1カ月間の観測資料を整理し、当該期間における各拠点測港の波浪統計ならびに異常波浪状況についてとりまとめた。また、巻末に各港湾建設局より提出された管内災害報告を併載している

波浪に関する拠点観測指定港は下記の14港である。

第一港湾建設局：酒田港、金沢港

第二港湾建設局：八戸港、鹿島港、東京港

第三港湾建設局：潮ノ岬港、神戸港

第四港湾建設局：宇部港、端島

第五港湾建設局：田子の浦港（長周期波の観測）

北海道開発部：苫小牧港、留萌港、紋別港、釧路港

** 水工部 観測調査課長

* 水工部 観測調査課